

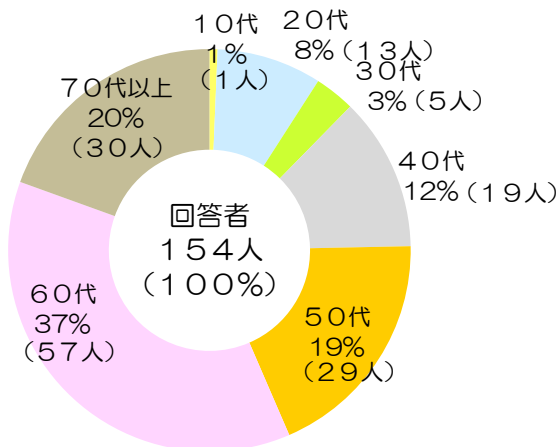
## 平成28年度 農村ボランティアに関するアンケート調査結果

この調査は、平成28年度に農村ボランティアに参加された「農村役立ち隊」を対象に実施したもので、延べ156人の回答を集計した結果です。

- アンケート実施時期 平成28年6月上旬～11月中旬
- アンケート実施回数 前期8回、後期7回 計15回
- 回答者数 延べ156人

### 【調査結果の概要】

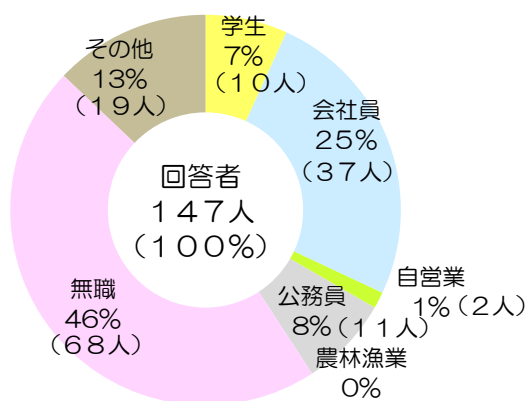
#### 1 農村役立ち隊の年代 (%)



年代は、60代の方が37%と最も多く、次いで70代以上が20%で、60代以上が全体の約6割を占めていました。

割合は少ないものの、10～20代も約1割参加されました。

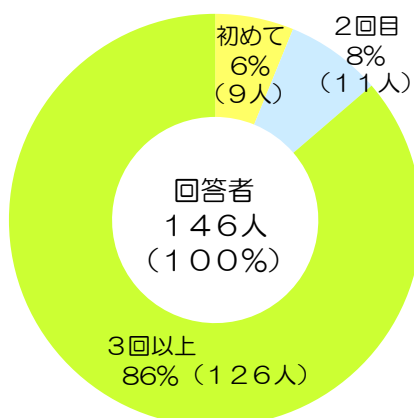
#### 2 農村役立ち隊の職業等 (%)



職業等は、無職の方が46%で約半数を占めており、次いで会社員が25%でした。

割合は少ないものの、学生も7%参加されました。

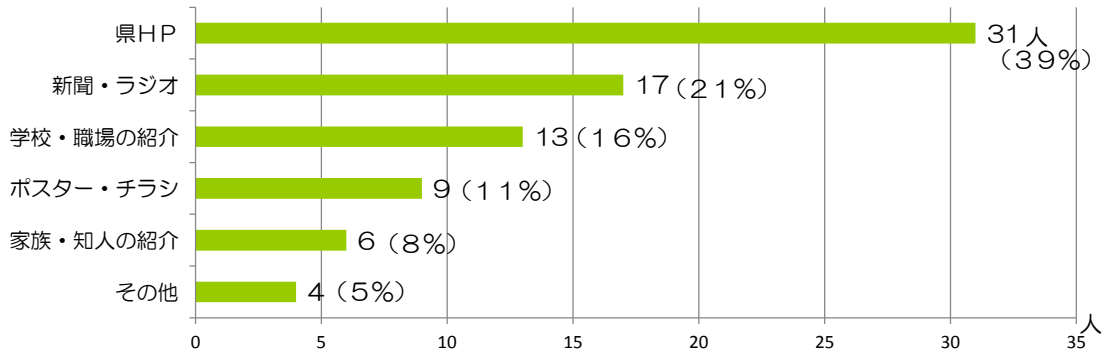
#### 3 参加回数 (%)



農村ボランティアへの参加回数は、3回以上の方が86%を占め、リピーターの方が多い状況でした。

#### 4 農村ボランティアに関する情報入手媒体について

農村ボランティアに関する情報入手媒体は「県ホームページ」が31（39%）と最も多く、次いで「新聞・ラジオ」が17人（21%）、学校・職場の紹介が13人（16%）でした。



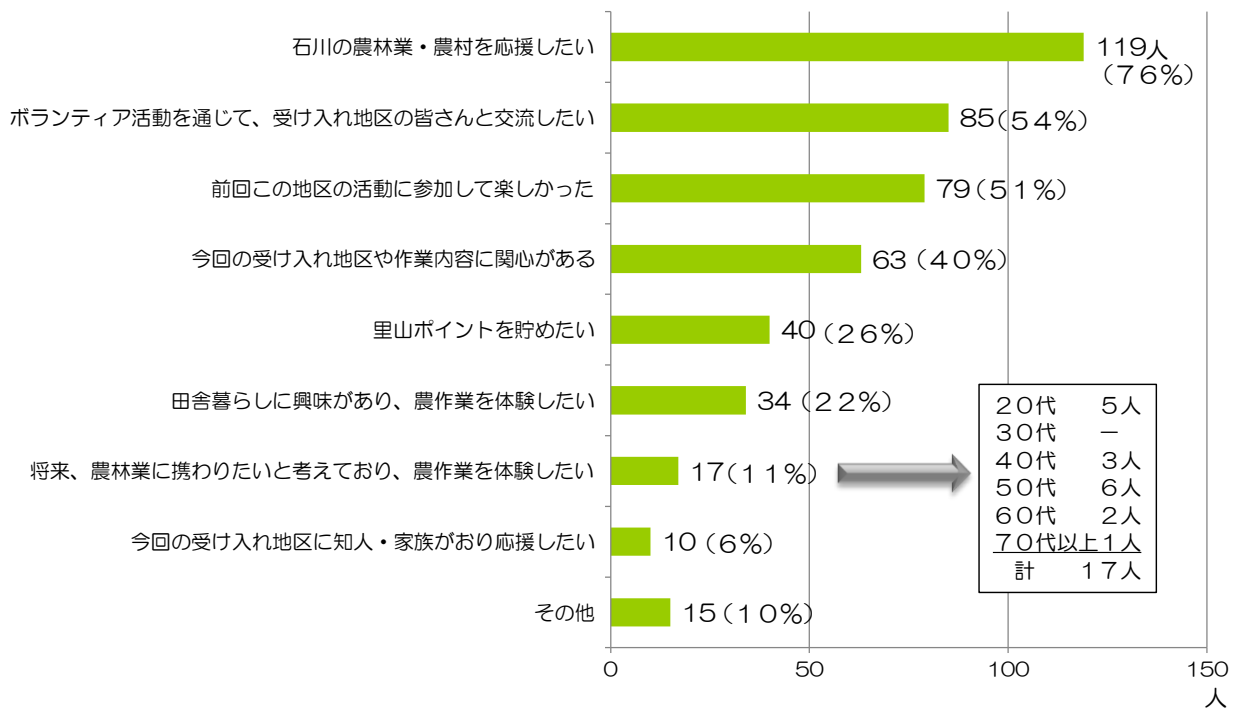
※回答者 80人

※括弧中の数値は、回答者80人を100%とした割合

#### 5 今回参加した理由について（複数回答）

農村ボランティアへの参加理由は、「石川の農林業・農村を応援したい」が119人（76%）と最も多く、次いで「ボランティア活動を通じて、受け入れ地区の皆さんと交流したい」が85人（54%）「前回この地区の活動に参加して楽しかった」が79人（51%）でした。

一方、割合は高くないものの「将来、農林業に携わりたいと考えており、農作業を体験したい」と回答された方が17人（11%）いました。



※回答者 156人

※括弧中の数値は、回答者156人を100%とした割合

◆質問6～8については、多くのご意見や感想をいただきました。ここでは、主なご意見や感想をグループ分けし掲載いたします。

## 6 ボランティアに参加して、どのようなことを感じましたか。

### ① 農林業を応援する喜びや達成感

○普通あまりできないことを体験できたのでとても良かった。(10代)

○皆さん、やる気に満ちていて、こちらもやる気になった。(20代)

○刈払機が使えると、より作業がはかどり、貢献できると感じた。(20代)

○自然にふれてリフレッシュでき、少しだけでも地域の役に立っていると思うと充実感もある。(40代)

○自分のしてみたいことを体験しつつ、社会貢献できて、なおかつ楽しく過ごせることに感謝する。(40代)

○周りの人には「もの好き」と言われるが、やってみたら絶対はまる。健康にも良い。(40代)

○以前植樹した木が大きくなっていてうれしかった。和やかな雰囲気で作業できた。主の桜より雑草のほうがたくましくすぎる。

○体を使うボランティアは達成感があって気持ちが良い。

### ② 受け入れ地区や農村の魅力を発見・体感、交流の楽しさ

○年輩の方から教わることが多く勉強になる。(20代)

○普段、足を運ばない所に来ることができて面白かった。(20代)

○地元でとれた食材を美味しく食べられることはとても幸せなことだと思った。(20代)

○作業しつつも集落の方とも交流できて良い。(30代)

○最初の頃は景色に癒やされたが、最近は人に癒やされる。(40代)

○だんだん仲間意識が芽生え、話せるようになりうれしい。

○地域の方のお話も聞けて、また参加したいと思う。まだまだすることがたくさんありますね。

### ③ 農作業でリフレッシュ

○久しぶりに身体を動かしたので良い運動になり、気分転換にもなった。(20代)

○普段の運動不足を感じた。また参加したい。(30代)

○参加すること、活動することがストレス解消になる。

○自然の豊かさを見て感じることができ、良い経験になった。街のせわしなさから少し離れてリフレッシュできる。

○日頃、事務仕事なので、リフレッシュできる。

○良い汗をかいて、ストレス発散でき、猪鍋も食べることができて最高である。

### ④ ボランティアについて

○思っていたより参加人数が多かった。(20代)

○集落の方の負担(お屋など)にならない程度に受入をしてほしいといつも思う。(30代)

○ボランティアは、その土地のことや人を知る楽しみをプラスして人が継続して集まってくる。(40代)

○学生さんが参加されていた。もっと参加の働きかけがあるといい。若い人がいると楽しい。(40代)

○少子化の折、元気な高齢の方が参加して頂ければ良いと思う。

○年間2～3回参加しているが、今後更に回数を増やしていきたい。

○かなり辛い作業だった。

## 7 農林業の仕事について、どのようなことを感じましたか。

### ① 大切・楽しい

○豊かな土を触ることは楽しい。(20代)

○大変な作業だと思うが、興味があるので楽しい。(40代)

○素直に「大変だなあ」と思った。ただ、黙々と作業するのが好きなので、とてもストレス解消になる。花や実が実る楽しみがあって、見たり食べる楽しみもあって私は好きな作業だと思った。(40代)

○水の管理の重要性を改めて感じた。

○保存の大変さ、継承の大切さ

○生きる根幹に関わる仕事に興味がある。人の手が足りない時のボランティアは有意義だと思う。

○きっと大変なんだろうなあと思う一方で、こんな素晴らしい環境を自分の生業とできることが羨ましい。

○森の管理は海まで影響があると言われてるので、このような作業は大切だと思う。

### ② 大変・不安

○想像していたよりも力のいる作業で大変だった。(20代)

○若い人が少なく、衰退が心配された。(20代)

○重労働で大変だと思う。

○高齢の方々が頑張っていると思った。

○地道な努力が大切であり、大変。地域の方々からいろんな話を聞く中で、それぞれの地域の仲の良さ、結束の大切さが伝わる。

○農家の方の大変さがよくわかる。人手不足で苦労していらっしゃる。

○天候との戦い、自然との戦い、高齢化の中で人力でどこまでできるか。大変な仕事である事は、その都度実感している。

○田畑の維持管理の大変さを痛感している。動植物と共存していく難しさ！

### ③ その他

○地区の農林業の仕事についての説明を聞いて、まだまだ知らない特産品があるんだと気づいた。(20代)

○一人でやるのはとても気が滅入る作業だけれど、大人数で行えばやれると思った。(20代)

○体力がいる仕事なので、若者の手も必要だと思った。(20代)

○特色ある農林業が多いが、広報・宣伝が少ないような気がする。(20代)

○エコや自然関係の勉強がしたくなった。(40代)

○たくさんの方の力が必要と思った。石川県の活動を通じていろいろ教わりたいと思う。地区の皆様にとって苦労が多い作業について、交流を続けてほんの少しでも理解を深めていきたいと思う。(40代)

○地区の人総出での草刈り等、集落の方々と一緒に作業で、年配の方々には本当に頭が下がる思いである。

○地域の高齢化が進んでおり、後継者の育成が問題だと思う。

○作業の機械化、省力化が必要

## 8 ご意見、ご要望など

### ① 会員

○新規参加の方、若い方が参加していて頼もしい。更に根気よく会員増加へのPRを継続し、頑張っている農家の方を力付けてあげられると素晴らしいと思う。

○今後も参加者が益々増えるように広報を頑張ってもらいたい。私も身体がついていくうちは参加したいと願っているのでよろしくお願いします。皆様も一年間お疲れさまでした。

### ② 農村・自然にふれる楽しさ

○自然いっぱいとても良かった。(20代)

○里山里海自然学校保全林を歩き、作業だけでなく鳥の声を聞き、見たこともない黄色いトンボ、マムシ、ヤマアオガエルの卵、ヤマアオガエルを観察でき、素晴らしい体験ができた。ありがとうございました。(40代)

○今年の後半から参加させてもらった。とっても楽しい体験をいろいろとさせてもらい感謝する。来年も参加したいと思っている。

○これからも参加して、自分ではなかなか行けない石川を見聞きたいと思う。

○新しい地域での活動もお願いしたい。

### ③ 送迎バス

○バスの運行をぜひ継続してもらいたい。

○参加者同士が集合して一緒に現地に行くという事も考えてほしい。

### ④ 昼食

○素晴らしいお昼をご馳走になりました。棚田米、手作りのところてん、お漬け物等全てが美味しく感動した。(40代)

○弁当持参でも良いと思う。

○昼食代を出してもいいので、準備していただくと助かる。

○地元の作物etcの販売もされても良いのでは・・・。

### ⑤ その他

○ポイントは貯めた数を交換できるようにしてほしい。

以上

農村役立ち隊の皆様、アンケート調査にご協力下さりありがとうございました。いただいたご意見は、今後の活動に反映したいと存じます。引き続き、いしかわ農村ボランティアにご参加下さるようよろしくお願い申し上げます。